

# 施工技術者の覺悟

正會員 雲 城 廣 一

## 勞工の統制對策

我々施工技術者の生命は期限嚴守にある、4月中旬に苦力を現場に入れ10月中旬迄に工事の竣功を爲さなくてはならない。滿洲土木工事の能率本位な期間約6ヶ月間に於て、年によりは大洪水をも受けなくてはならないので平均5ヶ月間にて使命の達成を圖らなくてはならないかかる上に國外苦力の募集には2月頃より天津方面に募集員を派遣し經濟部大臣の認可を得たる、爲替送金を受けるにも、相當な事務と人的努力を要して後、之の使用にも、あてにならぬ中國人苦力頭との掛引をなして募集費の査定をなし金鐘を授受するものであるが、此の際大がかりな募集宣傳をなしては足許を見られ努力拂底のみ見る恐怖感より交渉をなす、募集は既に一部不當な金高となりて濫費されることは免れぬ事實である。國境通過の査證手續の如きは現在に於ては煩瑣な事でもなくなつた昔しは之すら面倒なことであつたが現今我々請員業者の見透しは事業計畫が未來永久に發展する豫想のもとに尙倍加する見込の努力に對し、努力の拂底に惱まざるものと思ひ込む痛手におびえる事が日々事實以上の錯覺を來すハンデキャップより募集困難とさるゝ向もなきにしもあらざる感あり。

勞工協會の勞賃制定等の對策は日々インフレ状態にある勞銀を最も忠實に防ぎ得るや否やか肝要であつて標準賃金1人1日必要費用及利得に立脚したる協會制定の賃率は現情として實行出來難き所にも大きな悩みがある。即ち喧賃銀の多き事を憂慮せざるべからず。

之等煩瑣になりつゝある勞工問題に一部の解決要素は段取の合理化を益々強化せねばなりぬ、例へば盛土の場合でも機械力の捲揚を利用する此の場合にもガソリンを便ふ機械より重油を用ふるものがよい、高さ四米以上ともなれば12馬力エンジンにて勾配にて1立米積トロリ

を2台引あげ約2/3の人数にて作業をなし得らるゝ又サンドポンプ等考慮すべきである。昔のやうな主従感念であらゆる勞働者を使ふ事の出来ない、世情となつた上は施主側現場指導員も請負業手代も一丸となつて形式を屬ち一途不變な工事計畫に日夜を分たず猛進し努力の運用機械の利用をなさなくてはならない。

## 資材統制對策

企業者より前年度に工事施工の拜命を受ける事が恐らく稀であつたにも不拘資材の入手は企業者の證明によりて、作業年度の3月下旬までに入手準備の必要ある事に於て、統制の矛盾を見る土工事に必要な、ランズ、スコップ、アンペラ類は現在自由購入を許さるも構造物工事に要する、釘、番線等の入手は仲々困難である事の段取に大いに蹉跌を來すのであるが此等の準備はぜひ企業者側に於てなされる様、只し無秩序な保管、亂費は呉々も避けなくてはならぬ、國策品の作業服、地下足袋、手袋等の品質低下は止むなき事でもあれば、早く苦情感念をすて、資材愛護をなさねばならぬ、即ち段取の合理化より勞工者数を減し資材の重複使用をなす事、舊來の仲裁を考へる様な形式的感念を打破する事、例へば、型枠の修理箱番の移轉、工具の修理、足場架設には藥籠を荷のかゝらぬ板には竹釘等の使用をなす様に心掛くべきである。

## 技術が法規か、

本年になつて、愈々土木建築勞工者保護法案が設定されましたに就ては日本内地に於てすら、昭和7年に制定された法案を滿洲國が、さつそくと勞働者保護を立前に制定された事は誠に慶賀に堪へぬしかし我々施工技術者に加はる法規は、(イ)食糧品の購入、(ロ)油類の專賣となりてよりの購入、(ハ)勞工者の勞工協會規則充當手續(多少矛盾のある賃金の確立、之により保護を受くる苦

力の能率低下を余儀なくさる點、の憂慮中間差金の手續  
 勞工票の作製、月1回の賃金支拂状態の報告、歸國の際  
 の賃金支拂精算書の作製等)

資材入手の手續以上4項目等の國策順應の意義ある  
 仕事の増加は共に勞苦を措しむものにあらずれどもと  
 すれば日々此等の仕事に追はれ生命線たる施工技術の  
 も研議怠慢にしてならないことを強く感銘する次第で  
 あつて苟憂慮する施工能率を妨げる法規等に就ては充  
 分研究し眞に新國國體たる職域奉公の實を揚げたいも

のである一施主と施工者一致協力、舊來の陋習たる觀  
 念を拋棄工事施工計畫の合致資材の尊重經驗の交換に  
 より能率向上し精至の融和を基礎とし隣阻の氣持で不足  
 を滿し好き物を安く造る事を忘れてはならない。即ちコ  
 ンクリトの施工は早朝より好氣温に馬力をかけて結氷に  
 入らなうよう、尙々注意したいと思ふ興亞新秩序の建  
 設に當り我々翼賛事業の一端をになふもの獨善主義經濟  
 感を拋棄し飼く迄報國經濟の努力に邁進いたしたいと存  
 じ覺悟の一部と希望を述べた次第である。